

都市再生整備計画 事後評価シート

三日市町駅周辺地区

平成24年1月

大阪府河内長野市

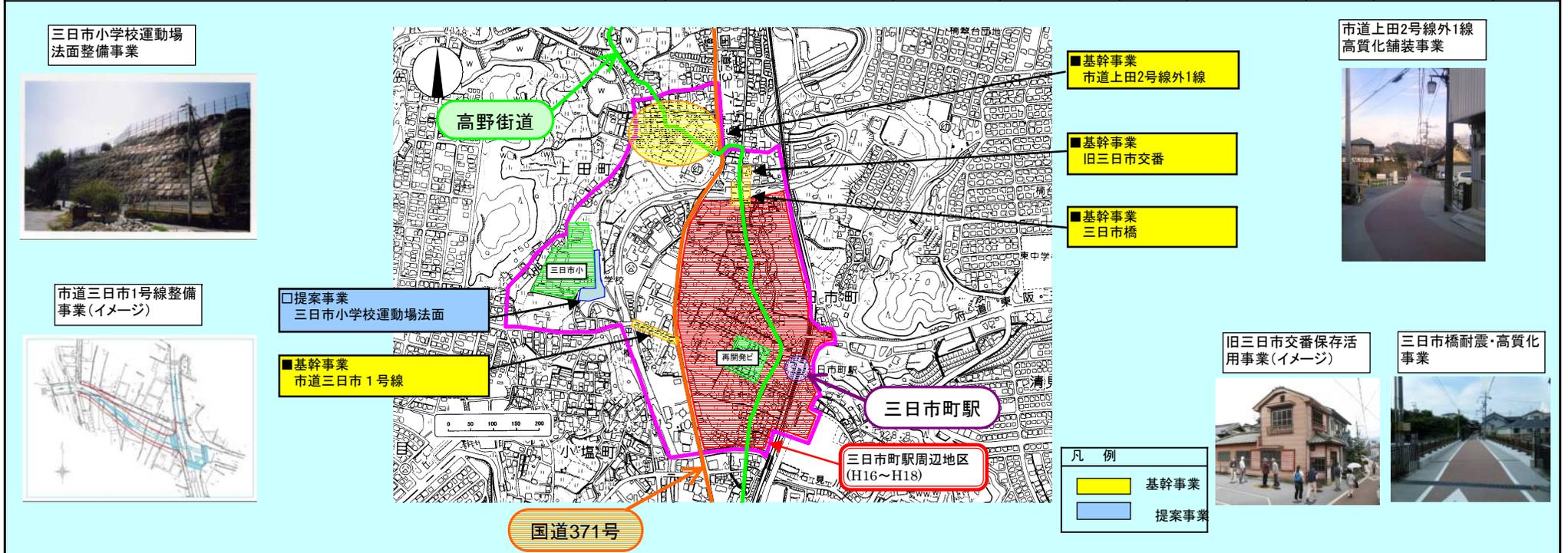
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	河内長野市		地区名	三日市町駅周辺地区			面積	21.6ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	493	国費率	0.391				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路事業(市道三日市1号線整備事業、三日市橋耐震・高質化事業)、高質空間形成施設(三日市橋耐震・高質化事業)									
	新たに追加した事業		提案事業	地域創造支援事業(三日市小学校運動場法面整備事業)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業										
			提案事業										
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更	平成19年度～平成23年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	通学路等の安全に対する満足度	%	18.9	H18	28.9	H23	モニタリング	評価値	×	あり: ● なし: ○	当地区の安全に対する満足度が見込みを下回ったものの、三日市1号線の整備完了により児童の通学時の安全性が向上する。	平成25年3月
	指標2	地区への来訪者数	人/日	16,285	H18	18,000	H23	モニタリング	評価値	×	あり: ● なし: ○	地区への来訪者数が見込みを下回った。要因は通勤・通学者の駅利用者の減少が大きいものと思われる。	平成24年6月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	地区の交通の安全性に対する満足度	%	-	-	/	/	モニタリング	評価値	/	/	三日市町駅前では街頭調査を行ったところ、市道三日市1号線整備後の地区の交通に対する安全性が満足できるとの意見が得られた。	平成25年3月
	その他の数値指標2	観光ボランティアガイドの地区案内件数	件	10	H18	/	/	モニタリング	評価値	/	/	高野街道の景観整備事業も要因となり、街道に係る市民の取組みも活性化し、地区への来訪者も増加している。	平成24年4月
	その他の数値指標3	高野街道まつりの来街者数	人	16,000	H21	/	/	モニタリング	評価値	/	/	高野街道の景観整備事業や街道に係る市民の取組みが活性化されたことにより、高野街道まつりの来街者が増加している。	平成24年11月
4) 定性的な効果発現状況	大阪府「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」の採択をきっかけに、豊富な歴史的資源や緑を活かした高野街道沿いの景観形成整備を実施し、地域住民のまちづくり活動に対する気運が高まった。												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-		
	住民参加プロセス		高野街道の景観を向上するための勉強会を実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、高野街道の景観を向上するための勉強会、講演会などを実施する。		
	持続的なまちづくり体制の構築		三日市小学校連合町会により、まちづくりのための組織「三日市地区高野街道再生プロジェクト」を設立				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 「三日市地区高野街道再生プロジェクト」の取組みを今後も推進する。		

様式2-2 地区の概要

三日市町駅周辺地区(大阪府河内長野市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:宿場町の歴史を活かしたにぎわいづくりと児童の安全の確保 目標1:通学路周辺の危険箇所解消による児童の通学安全性の確保 目標2:高野街道の歴史的街並みを活かした来訪者の増加	通学路等の安全に対する満足度	単位: %	18.9 H18	28.9 H23	16.5 H23
	地区への来訪者数	単位: 人/日	16,285 H18	18,000 H23	14,740 H23
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 市道三日市1号線が整備完了すると、車道の両側に歩道が確保され通学路の安全が確保される。 三日市橋の耐震工事を実施し、震災時における橋梁の安全が確保された。 市道上田2号線外1線のカラー舗装工事や三日市橋の高質化事業を実施することによりまちの景観が向上した。当事業の効果もあってか、地区を訪れ街道を散策する来訪者が多く見られるようになった。 旧三日市交番の整備が完了すると、地区に新たな街道の情報発信拠点が出来る。また、旧交番を地域の交流スペースとしても活用することから、地区のまちづくり活動が活性化されにぎわいが創出される。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 市道三日市1号線の整備により地区の大きな課題が解決されるが、今後も歩道の連続性の確保やバリアフリーなど通学安全性の向上に努めるものとする。 道路整備により交通の流れが変化することも予測されるが、看板や路面表示による安全啓発を図る。 景観向上事業を活用し歴史的街並みを保全するとともに、歩いて楽しめる環境を整備することにより来訪者の増加を図る。 地域住民によるまちづくり活動を活性化し、行政と市民の協働のしくみづくりや街のにぎわい創出を継続的に努める。